



佐賀駅と城内をつなぎ、まちの大事な結び目、松原について

入場
無料

佐賀市 松原の 歴史展

パネルで見て知る松原の今昔

NHK佐賀放送局にて、パネルでわかりやすくご紹介!!

とき **令和5年3月18日(土)~3月26日(日)**

9時30分~17時/会期中無休

ところ **NHK佐賀放送局1階 展示スペースにて**

佐賀市松原一丁目2-35

佐賀市松原の歴史展

入場
無料

佐賀城北堀に影を映して、くすかぜ広場（ARKS）、NHK佐賀放送局、徴古館、松原神社・佐嘉神社などが並ぶ佐賀市松原周辺は、駅や市街地と城内をつなぐ、まちの大事な結び目です。開放感のあるARKSや神社周辺の蒼い樹々、松原川の澄みきった流れという自然環境に恵まれ、神社や徴古館は地域の歴史を物語る存在です。

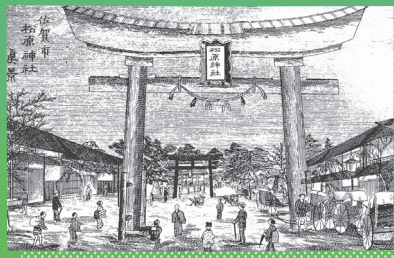
現在、佐賀市では、「松原公園周辺における歴史と文化を活かしたまちづくり懇話会」を設置し、歴史的・文化的エリアである松原公園周辺のあり方等について意見交換を行っています。そこで、この松原の歴史等を広く知ってもらいたいとの思いから、松原の歴史背景をパネルでお伝えする「佐賀市松原の歴史展」を開催いたします。



近代の松原の町並みは？



佐賀城下はどうやってできた？



鍋島報効会や佐賀市に残る
古地図や古写真などの歴史資料を
読み解きながら、20を超えるトピックで
江戸時代から現代までの
佐賀市松原一帯の移り変わりを
パネルで解説します。

戦中・戦後の松原は？



松原はいつから 人の集う場所に？



どうして弘道館は 松原にできた？



佐賀市
松原の
歴史

江戸時代

近代

現在、水と緑、新しいものと古いものが共存する都市環境が成り立っている佐賀市松原の由来は、市内中心部の原型である江戸時代の城下町に遡ります。

松原川や堀端の道路（貫通道路）など今に引き継がれている水と道のシステムは江戸時代の初めに構築されました。各地からの通学に至便なことから藩校弘道館は松原に設置され、龍造寺・鍋島両家を祀る松原神社・佐嘉神社は、佐賀の先人を祀る城下で唯一のお宮として松原の地に創建されました。

松原神社・佐嘉神社のもつ歴史性や包容性、また各方面の道が結節するという交通上の好条件により、近代には10代鍋島直正公銅像、県内初の図書館や博物館（佐賀図書館・徴古館）、人々が集う公会堂や佐賀市役所などの施設が松原の地に建ち並びました。その結果、松原は「佐賀丸の内」と称された官公庁群とともに、歴史・文化施設が集中する県内随一の地区となりました。

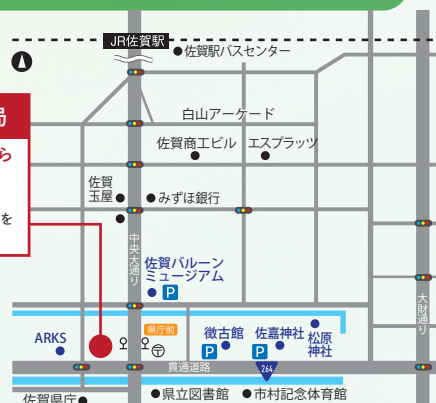
※感染症対策のため、予定が変更となる場合があります。最新の情報は徴古館ホームページやSNSなどでご確認ください。



会場：NHK佐賀放送局

最寄りのバス停「県庁前」から徒歩1分

会場南側のお客様駐車場利用可。
満車の場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。



【主催】佐賀市・公益財団法人鍋島報効会（徴古館）

【協力】NHK佐賀放送局・佐嘉神社

【問合せ】

●佐賀市歴史・文化課

☎0952-40-7103 ✉rekishibunka@city.saga.lg.jp

●鍋島報効会（徴古館）

☎0952-23-4200 ✉info@nabeshima.or.jp

